

症例：65歳 男性 CCS ACS

CABG 後、糖尿病、透析有り、

緊急 CAG：LITA-LAD のみ開存、Cx：CTO、RCA：#1 に石灰化の強い病変有り

RCA が今回の責任血管と考え、Rotablator にて PCI スタート。

しかし、PCI 中にマイクロカテーテルの交換が困難になり、GW が抜去できなくなった。無理矢理抜こうとしたとき、Wire が断裂。

Q：さて、断裂した Wire をどうするか？

：回収方向

A：さらに Wire を 2 本入れて絡め取る。

A：スネアをマイクロカテーテルと一緒に使用する。

A：ステントストラットで絡まってしまったときは OTW type の balloon で広げる。

A：スタックしているときは病変を広げる。

：残存方向

A：断裂したフリーになっている Wire の片端をステントで押しつける。

A：抗血小板剤を使用する。

：その他

A：胸部外科、心臓外科にコンサルト

Q：こうなる前に予防は？

A：ステントを広げる前に、側枝の Wire を抜去する。